

あーがー



第1回定例会

**みんなでこのまちを
ささえます！**

4月3日、和東保育園入園式。26人の3歳児が新しく仲間になりました。少子高齢化・地方創生の時代。皆でこの町を支えましょう。

27年度予算 地方創生元年の予算 >>> P.2

主な質疑 予算特別委員会から >>> P.6

一般質問 4人が町政を問う >>> P.9

委員会報告 総務厚生常任委員会 >>> P.12

産業常任委員会 >>> P.13

まちの元気 和東茶源郷ガイドの会 >>> P.14

地方創生元年、飛躍の1年

平成27年度の一般会計予算は、国の方針や地方財政計画を踏まえ防災・減災対策や道路橋りょう、公共施設の長寿命化対策、次代を担う子どもたちの子育て支援や教育の充実に重点を置いた予算となりました。予算額は対前年度比0・4%減となっていますが、前年度の地方債借換えによる元利償還金を控除すると実質は7・0%増の積極予算となりました。

平成27年第1回定例会は3月9日から18日までの10日間開会しました。定例会では、平成27年度一般会計や特別会計の当初予算、平成26年度補正予算、町営住宅建替工事、保育所条例の制定など町長提出の27議案と委員会発委・議員発議の3議案を審議しました。

平成27年度当初予算は、一般会計31億5200万円、6特別会計の合計19億7279万円、総額51億2479万円で、一般会計では減少、特別会計の合計では増額の予算となりました。(表1)

一般会計の歳入の内訳は、町民税や固定資産税などの町税収入が3億6465万円で歳入予算全体の11・6%。また、町税収入に分担金や使用料、諸収入などを合わせた自主財源の合計は6億6164万円で歳入予算全体の21・0%となり、残りの

79・0%を地方交付税や国・府支出金、町債などに依存する予算となっています。(グラフI)

町の借金にあたる町債は、前年度より1億4890万円減の3億4530万円で、主なものは道路橋りょう債9070万円や住宅債8770万円、臨時財政対策債8780万円などです。

歳出は、民生費が昨年度よりは少し減ったものの予算全体の22・6%で7億1195万円。次いで町の借金返済である公債費が15・9%。庁舎耐震補強・改修工事設計等を計上する総務費が15・4%となり、特徴的には観光振興事業を計上した商工費とスクールバスや教育用コンピュータ整備等を含む教育費がそれぞれ昨年度より増額しています。(グラフII)

地方創生関連予算としては、既存事業の充実や第3子以降の保育料の無料化、臨時福祉給付金や子育て世

帯への特例給付金など本町の活性化と住民生活を支援する予算を編成、26年度補正予算では地域経済活性化に向けたプレミアム商品券の発行や子育て世帯への生活支援、茶業振興対策事業等がそれぞれ計上され、補正・当初と切れ目のない13ヶ月予算となっています。

予算審査に当たっては、全議員による予算特別委員会を設置して3月11日・12日の2日間審査し、採決の結果、全ての予算を原案どおり可決しました。

平成27年度 会計別予算額 (表1)

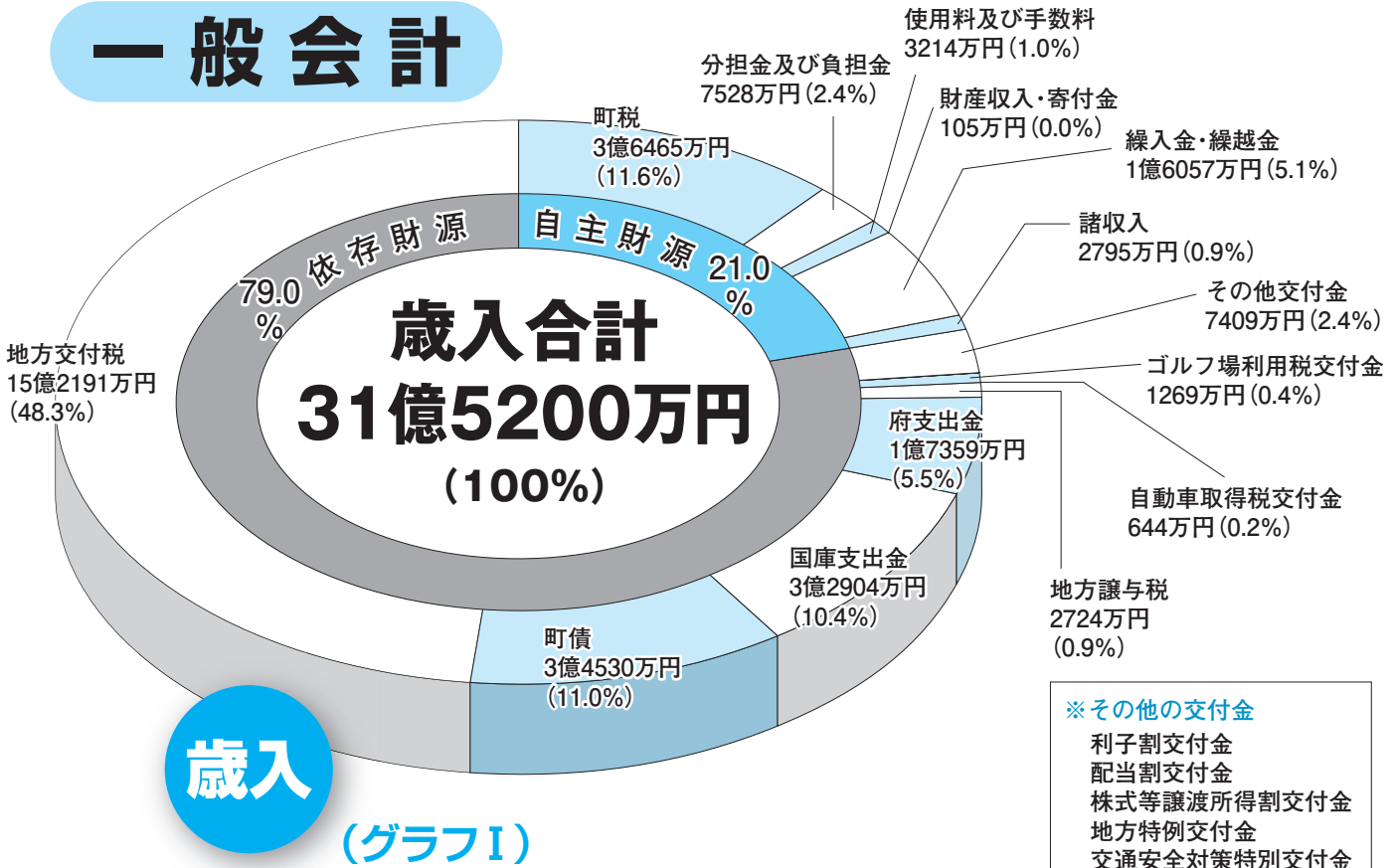
会計名	予算額	対前年比	
一般会計	31億5200万円	△0.4%	
特別会計	湯船財産区	751万円	1.8%
	国民健康保険①	7億2580万円	1.1%
	国保診療所②	8620万円	△3.5%
	簡易水道事業	2億9020万円	95.2%
	下水道事業	2億3085万円	21.0%
	介護保険	5億7303万円	1.2%
	後期高齢者医療	5920万円	△0.2%
	計	19億7279万円	10.9%
合計	51億2479万円	3.7%	

※国民健康保険特別会計は①②を合わせた会計です。

※万円未満切り捨てのため合計に誤差が生じる場合があります。

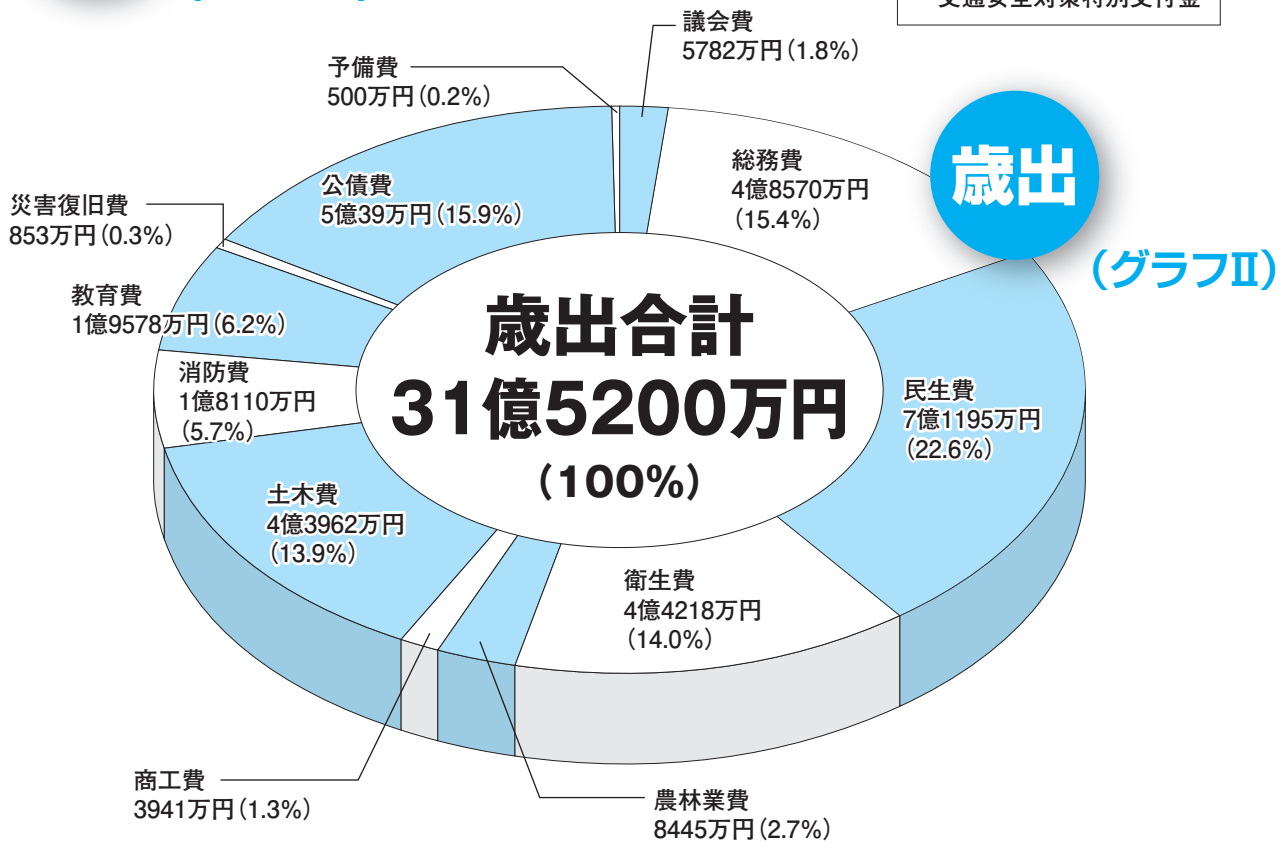
まちの活性化と 住民生活の支援を重点に

一般会計



歳入

(グラフI)



歳出

(グラフII)

※依存財源 国・府の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする町の収入。地方交付税や町債など。
 ※自主財源 町が自主的に収入できる財源のこと。町税など。
 ※町債 借入金 ※公債費 借金返済

大切な予算・税金の使いみちは

一般会計

まちの第4次総合計画に定める6つの協働プログラムに分けて、
主な予算額を説明します。

和東を担う次世代の人づくり協働に

子育て支援

保育所・子育て支援センター運営	1億1548万円
児童手当給付事業	4341万円
福祉医療（母子）事業	1369万円
放課後児童対策事業	661万円

学校教育・社会教育スポーツ・歴史文化

相楽東部広域連合負担金	1億9578万円
-------------	----------



更新計画の教育用コンピュータ

住民が支えあう安心と信頼の協働に

人権尊重

人権ふれあいセンター運営事業	2780万円
----------------	--------

保健・医療

山城病院組合負担金	3271万円
成人健康診査等検診・予防接種等健康管理事業	1960万円

高齢者・障がい者支援

障害者自立支援給付事業	8788万円
後期高齢者療養給付事業	6037万円
老人医療給付事業	1657万円

地域福祉

社協職員設置事業	1520万円
----------	--------

安全で快適な暮らしを実感できる協働に

道路

橋りょう長寿命化修繕事業	1億117万円
町道拡幅改良事業	8115万円
門前橋整備事業	6382万円

公共交通

路線バス対策・町営バス運行事業	2348万円
-----------------	--------

住宅

住宅建替事業	1億3341万円
--------	----------

自然を守りともに暮らす協働に

防災

相楽中部消防組合負担金	1億3945万円
非常備消防費	2458万円
庁舎耐震補強・木造住宅耐震対策事業	1038万円

上下水道

合併処理浄化槽設置整備事業	403万円
---------------	-------

環境・循環資源エネルギー

じん芥・し尿処理費	1億5548万円
-----------	----------

和東のブランドを高める協働に

農林業

中山間地域等直接支払交付事業	563万円
共同製茶等省力化推進事業	487万円

商工業

地域再生事業	482万円
--------	-------

交流産業

緊急雇用創出事業（観光事業）	1099万円
観光振興事業	1000万円
マウンテンバイクコース運営事業	458万円
観光案内所設計業務委託	302万円

住民・事業者・行政が共に進める協働に

住民参画のまちづくり

和東町地域力推進協議会負担金	851万円
----------------	-------

情報公開

茶源郷行政情報配信システム整備事業	890万円
-------------------	-------

行財政・地域経営

電子計算費	3077万円
庁舎改修工事実施設計業務委託	1334万円
京都府議会議員・町議会議員選挙	938万円

広域行政

相楽東部広域連合・京都地方税機構 ・相楽郡広域事務組合各負担金	2694万円
------------------------------------	--------



耐震補強・改修計画の役場庁舎

第1回定例会で決まった主なこと

条例改正等

相楽東部地域公平委員会の共同設置に関する規約

和東町、笠置町、南山城村、相楽東部広域連合で公平委員会を共同設置するもの。和東町公平委員会設置条例は廃止。

移動通信用鉄塔施設の設置及び管理に関する条例

湯船森林公園内に設置する携帯電話用鉄塔施設の管理規定。

奨学基金の設置及び管理に関する条例

経済的理由により修学困難な人へ奨学金を給付する基金を設置。

保育所条例の制定

子ども子育て新制度の実施により新保育所条例を制定。
従前の保育所設置条例と保育の実施に関する条例は廃止。

介護保険条例の一部改正

本年度から始まる第6期介護保

険事業計画に基づき介護保険料等が改定。

湯船辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

湯船森林公園内にバイオトイレを設置するための計画の変更。

町道山口線拡幅改良工事（2工区）請負契約の変更

平成27年3月31日から同年9月30日に工期変更。

町営第5中西団地住宅建替工事請負契約の締結

契約金額が5千万円を超えたので議決を必要としたもの。

契約 1億4926万6800円
井上・山城特定建設工事共同企業体

町営第5中西団地住宅建替工事請負契約の変更

平成27年3月31日から同年9月30日に工期変更。

26年度補正予算

〔一般会計 1億1262万円〕

地方創生関連予算

1 地域消費喚起・生活支援型

913万円

(1) プレミアム商品券発行事業

2 割増しのプレミアム付き商品券を発行（別に観光客向けの和東茶ファン拡大プレミアム商品券等も有る）

(2) 子育て支援事業

中学生以下の子育て世帯に商品券を無償配布

(1) 人口ビジョン・地方版総合戦略策定事業 311万円

和東町の総合戦略等策定に向けての調査費等

(2) 子どもの語学力向上と定住化促進事業 300万円

英語になじむように和東保育園に英会話講師を配置

(3) 縁側カフェプロジェクト事業 312万円

空き家を使ったカフェ等の運営に支援。

(4) 茶源郷行政情報配信システムによる活性化対策事業 60万円

配信システムへの住民参加（写真・ビデオ等の提供）

(5) 野生動物里山事業 225万円

地域ぐるみの野猿対策に必要経費の支援。

(6) 茶源郷和東おもてなし人材育成・観光産業創生事業 240万円

観光事業で人材雇用する企業等に対し支援。

その他の一般会計

強い農業づくり交付金事業補助金（JA茶集出荷場新設） 8180万円



こんどは英語で遊べるよ

主な質疑

(平成27年度予算特別委員会から)

厳しい財源の中でも、工夫をして積極的な事業展開を

問

今年は全てにおいて税込減になっていきますが財政の見直しは。

答 町長

積極的に事業化した一方起債の発行額が増えたが、全体的な流れでは健全財政を維持している。

問

マウンテンバイクの競技場、和東運動公園にAEDの設置を

答 農村振興課長

設置等については、今後協議していきたいと考えている。

問

有害鳥獣対策では、抜本的な捕殺捕獲していただきたい。

答 農村振興課長

27年度京都府審議会で諮った中で、対応を決めていきたい。広域一斉捕獲も考えながら一定の企業に捕獲の委託契約の方法も検討中

である。

問

観光案内所はどこに設置されようとしているのか。

答 地域力推進課長

候補地は役場近くの駐在所の空き地に案内所の設置を検討している。

問

社会保障の番号制(住基カード)のシステム移行について

答 税住民課長

10月から国民一人ひとりに個人番号が付番され28年1月から各種申請手続きが出来る予定である。

問

和東町の茶業振興の取り組み方について

答 町長

農地中間管理機構が中心のな施

策として重要になってくる。後継者対策に取り組み、和東町のブランドが非常に大事になってくる。親茶、京都産100%の和東茶、この位置づけをしっかりとしていくことが、農家を守る一番重要な考え方である。

問

山の家改修事業について

答 副町長

予定では来年の4月にリニューアルオープンし、宿泊施設を充実して観光機能を高めたい。

問

和東町史統編の見込みについて

答 町長

重要な事であり、教育委員会と共に検討していきたい。



和東町のブランドで茶業振興

答 総務課長

第2巻発行に向けて、現在資料整理という形で、その経費を計上している。

問

路線バスについて、対策委員会で協議中だがいつ頃に結論が出るのか。

答 総務課長

路線バス、コミュニティバス、そういった形で生活交通をいかに守るのかという議論を深めて、今後の方策を総合戦略、第4次総合計画の後期基本計画に盛り込んで考えたい。

問

介護保険計画の中で認知症対策について

答 福祉課長

地域包括支援センターの中に認知症の初期集中支援チームをつくり、認知症の地域支援推進員を今後結成して認知症になった方の初期の段階から支援していくという体制をつくっていく。

問

道路状況について。総合的・計画的な道路整備が必要だが

答 町長
無償用地提供だけでなく道路用地、用地買収に協力していただき、区で汗を流された箇所は、事業に取り組みやすい。必要な所については予算計上をする。

問
犬打峠のトンネル化について

答 町長
今回、町長選に出馬させていただいた公約は、犬打峠のトンネル化ということであった。

平成27年度は、経済効果等の基礎調査の段階だと考えている。今後、切れ目のない皆さんの支援、運動をいただきたい。その支援の下にこれは実現するものと考えている。

問
超過税率を早くもとへ戻してほしい。

答 町長
1.4という標準税率に0.1上げた税率をかけて固定資産税と償却資産税を徴収しているというのが現状である。見直したいが、基準財政収入額がさらに落ちてしまうので行政上非常に厳しい。今後、一層の努力を注ぎ一刻も早く見直しをかけた。

主な質疑 (平成26年度補正予算)

問
地産地消計画を立て推進されていると思うが、どの程度進んでいるのか。

答 農村振興課長
地産地消を推進しているが、小学校と農家の間で一定関わりを持っており、今後、農家の方々につなげていきたい。

問
保育所費の中で、英会話講師賃金が予算計上されているが、保育所現場からの要望があったのか。

答 福祉課長
保護者の約60%が要望されており、現在、保育園で計画してもらっている。

問
プレミアム商品券について詳しく説明を。

答 農村振興課長
今までのプレミアム商品券と同

じで、今回の地方創生の中で、消費喚起の補助金を充当している。

問
子育て支援商品券の内容について説明を。

答 福祉課長
子ども・子育て支援事業として、中学生以下の児童生徒を対象に、その世帯に対し、一人当たり6千円の商品券を無料で配布することになっている。

問
空き家改修補助金は、どのような計画で進めていくのか。

答 地域力推進課
観光振興の観点から、空き家を観光目的に使用する人を募集し、改修費用を補助するものである。

問
特別措置法が施行され、空き家対策は一年間の猶予があるが、ど

のように進めるのか。

答 町長
措置法の趣旨を十分くみとって、それに歯車が合うような施策を打っていききたい。

問
本町は、出品茶対策に種々取り組まれているが、農協に対して協力等強く発信してほしい。

答 町長
本町と同額という、当初設立した趣旨を互いに尊重すべく、組合に十分お願いしなければならぬと思っている。



町中で取り組む出品茶対策

意見書

第1回定例会に次の3つの意見書が提出されました。可決された意見書は、所管関係大臣に送付しました。

有害鳥獣対策の強化を求める意見書

提出者 産業常任委員長 岡本正意

可決

《賛成者 全員》

介護報酬引下げの撤回、安心できる介護制度を求める意見書

提出者 岡本正意議員

否決

《賛成者 3人》
《反対者 6人》

再稼働同意権を含めた安全協定を求める意見書

提出者 岡本正意議員

否決

《賛成者 1人》
《反対者 8人》

平成27年第1回臨時会

工事請負契約の締結ほか1件 **可決**

平成27年第1回和東町議会臨時会が2月10日に開かれ、工事請負契約の締結と変更の2件が審議され、いずれも賛成多数で可決されました。

町道童仙房線門前橋上部工事請負契約

内容…1億2495万6000円、北日本機械株式会社 社関東支社

町道山口線拡幅改良工事(2工区)変更契約

内容…一部工種変更に伴い契約金額を5735万9880円から5812万2000円に変更

各議員の賛否

平成27年第1回定例会(3月)に、町長から提案された議案のうち賛否がわかれたもの。

審議結果	会議区分	議案名	議員名										
			岡田泰正	吉田哲也	畑武志	前出茂	岡本正意	竹内きみ代	岩崎宗雄	小西啓	山口勝己	籠島孝幸	
可決	本	町営第5中西団地住宅建替工事請負契約の締結について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
可決	本	平成26年度和東町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
可決	本	和東町公平委員会設置条例を廃止する条例	○	○	欠	○	×	○	○	×	○	-	
可決	本	相楽東部地域公平委員会の共同設置に関する規約の制定について	○	○	欠	○	×	○	○	×	○	-	
可決	本	湯船辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	
可決	本	町道山口線拡幅改良工事(2工区)請負契約の変更について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	
可決	委	平成27年度和東町一般会計予算	-	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	
可決	委	平成27年度和東町湯船財産区特別会計予算	-	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	
可決	委	平成27年度和東町国民健康保険特別会計予算	-	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	
可決	委	平成27年度和東町簡易水道事業特別会計予算	-	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	
可決	委	平成27年度和東町下水道事業特別会計予算	-	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	
可決	委	平成27年度和東町介護保険特別会計予算	-	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	
可決	委	平成27年度和東町後期高齢者医療特別会計予算	-	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	
可決	本	和東町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	

※会議区分 本は本会議 委は予算特別委員会 ○は賛成 ×は反対 欠は欠席
籠島孝幸議長は本会議の採決に、岡田泰正予算特別委員長は委員会の採決に加わらない。

町政を問う

4人が一般質問

問

本町の地方創生の取組とは

答

住民が誇りを持ち、魅力を感じ、全住民が行動するもの

問

人口減少の克服と地域活性化のための総合戦略の策定は何か。

答 町長

昔の出生数の確保。農業の魅力の発信。さらに地方

問

近隣市町村、農協と連携した地方創生の戦略は

答 町長

自然に恵まれた文化・歴史・観光を活かすため近隣市町村と連携。宇治茶の主産地として農業振興とまちづくりの方向性は不可欠。農協との連携も柔軟に対応する。



農協との連携は不可欠

問

各課における地方創生の取組課題は何か。

答 総務課長

和東町交通手段の確保に関する懇話会の提言を踏まえ、奈良交通バスの利用促進と町営バス木屋線の運行形態、コミュニティバスの

運行等の検討。

答 地域力推進課長

お茶にまつわる多様な資源を活かし、交流人口の拡大につなげる取組の検討。

答 税住民課長

税や料金のコンビニエンスストアでの納付等住民サービスの検討。

答 福祉課長

子ども・子育て、高齢者の施策を優先的に配置する検討。

答 農村振興課長

農業、林業の担い手づくり、後継者対策、雇用対策、集落の活性化、都市と農村の交流、新規就農者対策、農地の流動化対策、林木の有効利用等を検討。

答 建設事業課長

ライフラインとしての道路・河川環境整備、簡易水道・公共下水道事業の推進。

防災・減災対策について

問

防災行政無線が設置され稼働しているが、今後の防災・減災の強化は。

答 町長

情報システムの伝達にため、避難訓練の実施や昭和28年南山城水害の教訓を生かしたまちづくりを。

答 総務課長

地域防災計画の見直しを行い、生命・財産等を災害から保護する。

答 建設事業課長

町道、河川については防災・減災に努める。

問

災害発生時、配慮を要する人の避難体制の確立は。

答 福祉課長

要支援者支援システムのデータ入力完了。災害時に災害対策本部に情報を提供し、要支援者の生命・身体を災害から保護する。



防災行政無線で迅速な情報伝達

問

健康日本21第2次で健康寿命の延伸を

答

健康行政をまちづくりの中心に据える



竹内きみ代 議員

問

本町の平均寿命と健康寿命の数値は。

答

町長 平均寿命は男性が78・3才、女性が88・3才、健康寿命は男性が77歳、女性が84・11才となっている。

問

平均寿命と健康寿命の差を縮めるための対策は。

答

福祉課長 医療費や介護費用等の社会保障費の面からも重要な課題であり、国民的健康づくり運動を展開する。

問

一般に言われる「病む期間」が、男性の全国平均

問

9・13年が、本町では1・3年、女性の全国平均12年が、本町では3・9年であり、健康長寿のまちをもっとPRしては。

答

町長 健康寿命を延ばして、住民とともに協働して日本一を目指してまいりたい。

問

ロコモティブシンドロームの認知度を高める取組みは。

答

福祉課長 骨、関節、筋肉などの体を支える働きが衰え、要介護や寝たきりにならないよう若い時からの運動習慣が大切と考える。

問

茶源郷ポイント制度の検証と目標の設定や達成度の公表を。

答

福祉課長 過去2年間の事業分析を行い結果も公表する。

光ボックスを活用した取り組みを

問

光ボックスを活用した介護予防の検討を。

答

総務課長 福祉課や社協と協議し活用できるように検討する。

問

住民が参加できる体制の検討を。

答

総務課長 各区へ光ボックスの設置を要請していく。

問

議会中継の検討は。

答

町長 録画中継は可能、あとは議会で議論される問題でもある。

問

426世帯が接続されているが、操作が難しい面もありサポートが大事ではないか。

答

総務課長 より簡易な形で視聴ができるようN T Tに要望していく。

空き家再生の活用について

問

空き家の調査結果は。

答

農村振興課長 全体で108戸ある。その内、利用可能が86戸、利用不能が22戸ある。

問

今後の対応については。

答

農村振興課長 空き家に対するデータベースの整備が完了したので、今後は関係部局の役割分担や体制の整備、相談窓口の設置等に取組む必要がある。

問

移住や定住化促進のための受け皿づくりの検討は。

答

町長 空き家は宝の山との観点で、対策の計画書を前向きに検討していく。



光ボックスでロコモ体操

問

介護報酬引下げに反対し、
保険料値上げ中止を

答

国の決定に理解を
高齢者も応分の負担を

問

政府に介護報酬引下げ撤回の要請を

答 町長

政府の決定事項であり理解を

問

保険料値上げの中止を

答 町長

所得段階を細かく区切り低所得層に配慮している

問

保険料、利用料の減免を

答 町長

保険料は所得により軽減している。利用料は①負担の公平性②コスト意識を持つ③重度化の予防、リハビリへの自覚促進のねらいが

あり、独自の減免は考えていない。

問

「要支援」者のサービス確保の受け皿は。

答 福祉課長

平成29年度まで実施を延期し、行政と福祉介護関係職員らとの協議体を立上げ協議する。

「マル老」改悪への町の対応は

問

負担が倍増する改悪は許せない。府に改悪中止の要請を

答 町長

町村会などで声はあげてきたが現段階では要請はで

きない。

問

町独自の支援で負担軽減を

答 町長

独自の支援は難しく考えていない。

若い世代の定住促進を

問

若者向け町営住宅整備の検討を

福祉マンパワー確保と定住促進を目的とした修学支援制度を

答 福祉課長

制度のある自治体もあり、今後調査と研究を進め、定住施策と一体で検討する。

問

定住奨励制度の創設を

答 町長

流れとしては重要。住宅施策等と絡め検討する。

問

子育て支援の充実へ①教育費無償化を②学童保育料の引下げを③18歳まで医療費無料化を

答 町長

支援は大事との立場だが、財政上の問題もあり、引き続き検討していく。

文化・スポーツ施設の整備、改善を

問

町の歴史や文化を伝える資料館や文化活動の拠点となる施設整備を

答 町長

非常に大事な事と認識しており文化活動が遅れている実態もある。もう少し内部で検討する。

問

海洋センターの有効活用へ改善を

答 総務課長

休館日を年末年始のみに変更し利用しやすいよう改善した。指導者会を設立し、有効利用に向け努力をはじめている。

問

トレーニングルームはあがるが機能していない。健康づくりの点でもスポーツ振興は大事では。

答 総務課長

健康づくりの中核施設としての活用も必要であり検討する。



海洋センタートレーニングルーム

総務厚生常任委員会

まち・ひと・しごと
地方創生事業始まる

委員長 竹内きみ代

堀町長は、2月25日の委員会で、国のまち・ひと・しごと創生に関して補正予算を提案、27年度中には地方版総合戦略の策定が求められており、今後はこれらの方向に沿ったまちづくりを推進していくことになるとの説明がありました。はじめに平成26年度事業の執行状況と平成27年度予算概要について事務調査を行いました。



特別養護老人ホーム わらく

総務課では、第4次総合計画後期基本計画策定について、住民意識調査と基本構想の見直しを中心にアンケートを実施中で、今後パブリックコメントを実施するとのことでした。地域防災計画見直し事業では、南海トラフや避難マニュアル、法改正に伴う見直しを行い、すでに素案はできたとのことでした。

福祉課では、4月から始まる子ども・子育て支援事業により、保育園では30分の早延長となり給食は3歳児以上にも米飯を提供となる。また、第3子以降の保育料の無料化は18歳まで拡充することなどの説明を受けました。平成27年度の予算の概要については、老朽化した役



施設の利用状況等の説明を受ける

場庁舎のトイレ・照明・エアコン等の改修、耐震補強工事設計業務委託、経済的な理由により就学が困難な生徒に対し支援する大学生等奨学金給付事業、魅力ある観光地づくりの一環として観光案内所の整備に向けた設計委託業務等の予算が計上されています。昨年12月に策定された国のまち・ひと・しごと創生総合戦略の地域住民生活等緊急支援のための交付金として1080万円、地方創生先行型で3229万円が交付される予定です。

また、今年で10年目を迎える特別養護老人ホーム「わらく」を視察研修し現状と今後の取組みや施設を見学しました。

一部事務組合・広域連合議会報告

相楽広域事務組合議会

し尿処理手数料を126円/10リットルに

2月16日定例会が開かれ、し尿処理・消費生活センター・休日往診診療所の各状況報告、平成26年度一般会計・ふるさと市町村圏事業会計補正予算及び平成27年度両会計予算、し尿処理手数料を含む条例改正等が審議され、全て可決されました。

平成27年度予算 3億9800万円
和東町負担分 4707万円

相楽中部消防組合議会

高機能消防指令装置工事費に1億3千万円

2月12日定例会が開かれ、消防賞じゅつ金等審査委員人事や空席の監査委員の選任同意、高機能消防指令装置工事や化学車Ⅱ型購入を含む平成27年度予算等4案件が審議され、全て可決されました。

平成27年度予算 15億300万円
和東町負担分 1億3950万円

国民健康保険山城病院組合議会

副管理者に石田大志氏が再任

2月18日定例会が開かれ、病床の効率的利用等新たに4項目を追加した27年度の運営方針等の報告や副管理者と公平委員の2同意案件の他、27年度予算等4議案が審議され、全て可決されました。

平成27年度予算 76億6428万円
和東町負担分 3710万円



和東山の家

山の家のリニューアルで 50人規模のホール等を予定

産業常任委員会

委員長 岡本正意

2月24日に開催した委員
会では、平成26年度事業の
執行状況、平成27年度予算
の概要、地方創生事業の内
容について審議し、リニュー
アル予定の山の家を視察し
ました。

審議では、合併処理浄化
槽の設置基準や有害鳥獣対
策の柵設置と景観との兼ね
合い、捕獲檻やGPSの活

用や観光客のマナーへの対
応、バイオトイレ設置の方
向性、公共下水道の整備地
域と未整備地域の格差、水
洗化未整備の世帯数、一般
競争入札への対応、国道

163号での横断歩道や信
号機の設置や柳田区内の拡
幅工事に伴う通学路等の安
全確保、体験交流センター
の管理のあり方などの意見
が出されました。

山の家を視察し、リニュー
アルの主な内容の説明をう
け、①玄関の段差を解消②
50人規模のホールやラウン
ジを設ける③客室は和室・
洋室を整備し、全室ユニツ
トバス付き④大小浴室を設
置し、湯がきれいな状態を
保てる方式に⑤団体専用と
して研修所の改修も行うと
の事でした。



リニューアル(案)の説明を受ける

現在の営業は8月末で休
止し、秋以降から改修工事
を開始し、新装オープン
を来年4月になる予定です。

新年度予算の概要説明を
うけ若干の審議を行った後、
地方創生関連の交付金事業
の説明があり、消費喚起・
生活支援型で4事業、先行
型で12事業を予定。継続事
業の財源振替えが多い等十
分でない、今後の変更も可
能であるとの説明でした。

前号(第158号)の訂正

【誤】一般会計決算額

(歳入) 75億2975万円
(歳出) 73億7036万円

【正】一般会計決算額

(歳入) 7億5297万円
(歳出) 7億3703万円

一部事務組合・広域連合議会報告

京都府後期高齢者医療広域連合議会

副連合長に山内修一副知事を選任

2月13日定例会が開かれ、平成26年度一般会計・特別会計補正予算、平成27年度一般会計・特別会計予算、行政手続条例及び情報公開・個人情報保護審査会条例、基金条例等の8議案と副連合長、公平委員の同意2件が審議され、いずれも可決されました。

平成27年度予算 25億7241万円
和東町負担分 6037万円

京都地方税機構広域連合議会

議員の異動で6名が新たに就任

2月21日定例会が開かれ、構成市町村の議会編成による新議員を交え副議長選挙や監査委員の選任、平成26年度一般会計補正予算及び平成27年度予算等が審議され、全て可決されました。

平成27年度予算 20億9468万円
和東町負担分 549万円

相楽東部広域連合議会

小中学校パソコン教室の端末整備

3月6日定例会が開かれ、平成26年度一般会計補正予算や教育用パソコン整備・スクールバス購入費等を含む27年度予算及び公平委員会共同設置、任期満了の教育委員の任命等が審議され、いずれも可決されました。

平成27年度予算 8億5528万円
和東町負担分 3億2407万円

まちの
“元気”を
訪ねて

町内の宝を探してすばらしさを 紹介したい

「和東茶源郷ガイドの会」

今回は、茶源郷わづかを町外の人達に紹介する、観光ボランティアガイドの皆さんを紹介します。

Q いつから活動されていますか。
A 平成22年の秋からです。

Q 現在、会員は何人おられますか。
A 15人です。

Q どのような活動をされていますか。
A 旅行社等からの依頼に応じて町内の社寺や歴史、茶畑景観や茶摘み体験などを紹介しています。又、自主企画でウォーク会を実施しています。茶源郷まつりでは茶畑ツアーのガイドをしています。

Q 勉強会などはどのようにされていますか。
A 茶香服会や茶市場の見学、農作業体験等、年6回ほど「お茶を識る」勉強会を開いています。世界文化遺産登録の話もありお茶の世界は奥深いです。

Q うれしかったことや苦勞したことは。



茶香服を勉強する会員

Q 私たちの説明を聞いて感動された時や又訪れたい体験してみたいとの声を聞いたとき、うれしかったです。困ることは観光客向けのトイレが無いことです。

Q 今後の活動への思いは。

A 町内各地のお祭りや行事に参加したり歳時記を探したりして町内の宝を探し、みんなに紹介したいです。町のホームページや和東チャンネルへも紹介したいです。

和東茶源郷ガイドの会の問い合わせ先

代表 阿部 忠

TEL. 0774-78-4181

(和東町雇用促進協議会内)



会員のみなさん

編集後記

新緑の候、茶源郷和東にもお茶の生産期が訪れ活気に満ちた季節となりました。

国では人口減少と地域経済活性化のため、地方創生と銘打った「地方人口ビジョン、地方版総合戦略」を自治体に求めています。

3月定例会では、平成26年度補正予算や平成27年度当初予算に地方創生関連事業が多く盛り込まれ、本年は地方創生元年ともいわれています。今後、課題解決のための計画策定に町の発展を期待します。

さて、今回の議会だよりは今期議員の最後の広報紙となりました。

編集では「町の動き」や「議会活動」を少しでも分かり易いようにと努めてきました。

4年間、ご支援ご協力を賜りました皆様、どうもありがとうございました。

広報編集委員会

- 委員長 岩崎宗雄
- 副委員長 岡田泰正
- 委員 山口勝己
- 委員 山内きみ代
- 委員 竹内幸
- 委員 籠島孝幸

第2回定例会は、6月上旬開催予定。傍聴にお越しく下さい。